

1918 819T 1918 6T9T

第一二一三

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

書記官

陸軍

陸軍

軍

保存期限

受領 番號

陸海志第九八九号

起元應

關東軍

十年

件名

滿洲國官吏復職方ニ關スル件

決裁指定



決行指定

大臣

委

回答文書来ラサリシモ後本件ノ因ニ
ラニ當課ニ於テ處置濟ニ付結了トモ
レ度 二月十日 軍務課

官房中

長官

長課

課長

課長

課長

課長

決行(決裁)	決行(決裁)	決行(決裁)	決行(決裁)	決行(決裁)	決行(決裁)
局長(部)	局長(部)	局長(部)	局長(部)	局長(部)	局長(部)
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長
課長	課長	課長	課長	課長	課長

昭和 年 月 日
昭和 年 八月 日

陸海志第九八九号

1619 819T

第一二二番

行決	行決
回	回
長(部)局	長(部)局

長	課	長	課

官 次 官 次 務 政

長局務主官副級高 官與參

長課務主 副官 主務 書記官

長課務主

房官原大 課局務主

了結領受 出提領受 號番

昭和 昭和

年 年

昭和 昭和

年 年

昭和 昭和

年 年

昭和 昭和

年 年

保存期限

件名

滿洲國官吏復職方ニ關スル件

陸海軍第九八九号

關東軍

昭和 昭和

年 年

昭和 昭和

年 年

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

書記官

陸海軍

次官ヨリ司法次官宛照會 (陸海軍)

前頭ノ件ニ際シ滿洲國政府より關東軍司令部
ヲ通シ左記ノ者ハ康德三年十月仙台地方裁判所
檢事ヨリ滿洲國檢察官トシテ來任以來司法
實務ニ付幾多改善ノ實ヲ擧ケ其功績見ル
可キモノアリシガ今般病氣ノ為辭職願出タル
ヲ以テ依願免官ニ決定シタルニ付暫時靜養
ノ上日本司法官トシテ復職致サセ度旨卓越有
之候ニ付御配慮相煩度此段得實意候也

左記

奉天高等檢察廳檢察官 高野 元

陸海軍第三五四號

昭和三年八月二日

満秘人

1621

陸軍省
陸清密受第 九八九號

關參滿發第六一三號

司法省官吏要員ニ滿洲國官吏復職方ニ關スル件

昭和十三年七月二十七日

關東軍參謀長

磯

谷

廉

介

陸軍省軍務局長 中村明人 殿

左記ノ者ハ康徳三年十月仙臺地方裁判所檢事ヨリ滿洲國檢察官トシ
テ來任以來司法實務ニ付幾多改善ノ實ヲ擧ケ其功績見ル可キモノア
リシカ今般病氣ノ爲辭職願出タルヲ以テ依頼免本官ニ決定シタルユ
付暫時靜養恢復ノ上日本司法官トシテ復職致サセ度旨滿洲國側ヨリ
申越シアリタルニ付可然交渉方配慮相煩度

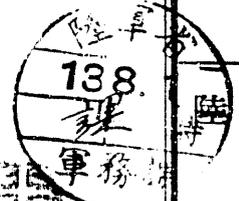
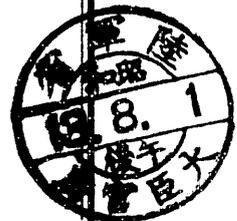
左記

奉天高等檢察廳檢察官

高

野

元



軍

控

秘

1622

宣務發第二七〇號

司法部官吏要員~~新~~滿洲國官吏復職方ニ關スル件

昭和十四年三月九日

陸軍省軍務局宣務課長 影佐禎昭

關東軍第四課高級參謀 片倉 哀 殿

昨年七月二十七日附關參滿發第六一三號ニ依ル奉天高等檢察廳檢察官高野元ノ日本司法官復職方ニ關シ其ノ後復職幹旋取運ビ居ラザル模様ナリシヲ以テ更メテ司法部ト連絡セル處司法部ヨリ左記ノ如キ回答アリシニ付右ニ關シ貴見至急回報煩シ度

左 記

本人ノ様子不明ニテ處理ニ窮シアリ、本人ハ退官セシモノナルヤ、辭

陸 軍

養中ノモノナルヤ、尙依然復職ヲ希望シ居ルモノナルヤ

以上

海秘人



關參滿發第一四五八號

司法省官吏要員ニ滿洲國官吏復職方ニ關スル件

昭和十四年五月十六日

關東軍參謀部第四課高級參謀

片倉

衷

陸軍省軍務局軍務課長 有末 精三 殿

三月九日附軍務發第二七〇號ニ依ル首題ノ件ニ關シ別紙總人第一三五六號ノ四篇ノ通申出アリタルニ付可然配慮相煩度

本令基干更ニ司物者人等係ニ交ハセシメ
一應中人ノ出動方要求アリシニ付比ノ旨中人
ニ傳達ス(五月廿二日)
軍務課

1624

陸軍



總人第一三五六號ノ四

康德六年五月十二日

滿洲帝國國務院總務長官 星野直樹

關東軍參謀長 磯谷廉介殿

日米法官司法省復職方ニ關スル件

三月十五日附關參滿發第七四四號ヲ以テ申越相成タル兀塞天高等檢察
廳檢察官高野元ニ對スル首題ノ件ニ關シテハ事情左記ノ通ナルニ付右
御諒承ノ上重不テ復職方御配慮相成度

記

一、退官月日

康德五年九月十七日附

註、右退官ニ付テハ同年九月十九日附總人第一三六三三號ノ三ヲ以

テ報告済ナリ

一、本人退官後ノ動靜

本人ハ退官後引續キ今日迄東京市世田ヶ谷區松原町四ノ三四八番地ニ於テ專テ静養中ニシテ昨年十月小康ヲ得次テ本年二月ニ至リ漸ク醫藥ヲ服スルニ及ビ昨今ニ在リテハ殆ンド健康ヲ恢復シ常人ト變ラザル生活ヲ爲シ居レルガ尙今後約六ヶ月ヲ要セザレバ全ク快癒セザル旨診斷ヲ受ケ居レリ

一、復職希望ノ有無

敝上ノ動靜ナルヲ以テ本年十月頃全治ヲ待テ復職致度希望ナリ